

視点

子どもの健やかな育ちこそ、 素晴らしい未来であり希望です！

一人の教育は「不連続の連続」であり、想像を絶する展開をしている—

東京家政大学大学院人間生活学総合研究科長 大澤 力



世界で最初に幼稚園を創設したフリードリヒ・フレーベル【ドイツ:Friedrich Wilhelm August Fröebel】は、その名著「人間の教育」において、人の育ちの筋道を【不連続の連続】という表現を使って著わしております。現在、著者は奉職する学校法人渡辺学園東京家政大学【明治14(1881)年創設:140年間続く世界でも希少な女子教育の伝統校】において、令和3年4月1日から縁あって●大学院人間生活学総合研究科長●子ども支援学科教授●附属女子中学校・高等学校校長という3つの職種を掛け持ちするという本学一の多忙な立場に就任しております。そして、仕事は毎朝の附属中高朝礼からのスタートとなっており、様々な課題と常に向き合い、良き仲間と工夫しながら一つ一つ丁寧に精力的にこなしつつ、忙しくも遣り甲斐ある毎日を過ごしております。さらに、数十年前にはバスの運転や幼稚園教諭、主任、園長代理など、様々な幼児教育現場での職種経験もございます。こうした初等教育<幼児教育>、中等教育<中学校・高等学校教育>、高等教育<専門学校・短期大学・大学・大学院教育>に関する学修と実体験を通し、フレーベルの云う【不連続の連続】を初等教育<天真爛漫な幼少期>、中等教育<人生に悩み落ち葉の散る様子に涙し、お箸の転がることに嬉々として喜ぶ思春期>、そして高等教育<自身の人生創造に力強く踏み出す青年期>というように、日々の実体験を通した心底から全身全霊が揺さぶられる感動を深く味わう毎日を過ごしております。

新米附属中学校・高等学校校長、就任早々10日後の入学式、居並ぶ新入生を目前に「本学を皆さんとともに光り輝く日本一、世界一の学びの園へと創り上げて行きたい！」といったお話をさせていただいた瞬間の子どもたちの目の輝き、それは凄まじい

光を放って居りました！本当にビックリしました。こうした状況は、大学教育の場や幼児教育の場における展開と一味も、ふた味も違った素晴らしい実体験として私に襲い掛かって参りました！^{まさ}に、人の教育は同一の人物において展開される【連続性】を担保した、その時々^の育ちに見合った大きな質的違い【不連続性】を包含した想像を絶する展開を繰り広げているといったことを実感し、深く噛みしめた最初の素晴らしくも貴重な体験でした。

さらに、本学は明治14(1881)年創設:2021年で丁度140周年を迎えた女子教育一筋の学園です。東日本大震災(2011年3月11日)からはじまる昨今の天変地異、そして新型コロナウイルスのパンデミック、未だ不透明な毎日が続く最中、間違いなく「子どもの健やかな育ちこそ、素晴らしい未来であり希望です！」。

フレーベルの云う「不連続の連続」や140年間に及ぶ女子教育の歴史と伝統など、こうした教育の原点を確実に受け止めながら、一步一步着実に前向きに、前向きに、前向きに明るく元気に真っすぐに、前を見つめて進むことこそ、今一番重要なことかと存じます。改めまして「子どもの健やかな育ちこそ、素晴らしい未来であり希望です！」を肝に銘じ、こうした歴史と伝統を確実に受け止め実践してゆく教育実践こそが、昨今の不安定な時代に最も重要な不易という不滅の指針を与えるものと確信し、さらに次の時代を創造する教育の「新」をも模索し、真と新の教育の核心を探りつつ、良き仲間と共に力強く教育実践を展開し、【日本一・世界一の女子教育の創造】を期し、150周年に向かうことが、我が学園の日常であり、今、私が一番願いつつ実践していることであります。